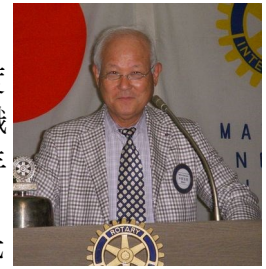


<職業奉仕セミナー報告：中原光男副委員長>

平成26年10月18日（土）国際ロータリー第2790地区2014～15年度「職業奉仕セミナー」に出席してまいりました。出席は、各クラブの職業奉仕委員長と各クラブの会長幹事の義務出席ということでした。本年度ガバナーの方針という事です。



10：00に地区委員長土屋利夫氏の点鐘に始まり、ガバナー宇佐見透氏の挨拶より「意見交換」という討議に入りました。

討議テーマは3つ (1) 職業奉仕委員会は何をする委員会？

考えて何が浮んできますか？

(2) 職業奉仕の実際の方法は？

どうしたらいいと思いますか？

○ (3) あなたにとって職業奉仕委員会は必要と思いますか？

17のテーブルに分かれて、1テーブル約10人、170人超の出席で、各テーブルには「テーブルマスター」を地区委員長が指名し、討議を開始しました。

私は14テーブル、テーマは(3)を選びました。

- （意見）・会員の事業所訪問を実施している。
- ・会員の職業を卓話により紹介する。
- ・テーマ(3)について、職業奉仕委員会は必要である。
- ・CLPはいい方法である。

50分の討議を終了。土屋委員長の指名により、各テーブルの発表に移りました。

NO.6、4、11、15、1、17テーブルと無差別に指名を受け発表されました。

■テーマ(3)について必要かどうかについて

- ・全テーブルにて必要であると結論しておりました。

理由は、職業奉仕はロータリーの根本体質である。そしてロータリーの品格を得る場でもあること、また職業奉仕は、社会貢献でもあること。4つのテストは職業奉仕の基本であり、手本である、等で一致した意見でした。やはり必要だということです。

発表のまとめとして本年度ガバナー宇佐見透氏の総評がありました。

●ロータリアン間の信頼は、職業奉仕により生まれると考える、だからテーマ(3)は絶対必要であります。

●ロータリー「手続き要覧」の第1章（ロータリークラブ）に「ロータリーEクラブ」という項目があります。それは、

「直接顔を合わせた会合を開くかわりにインターネット上での例会を開く」

「通常のロータリークラブと同様の権利を有する」とあります。

いくらコンピューターの時代とは言え、顔を合わせず例会を開くことには納得できません、ロータリーにより信頼関係を築けたのに残念です。この件について各クラブで討議しクラブの結論として地区に提示し、各クラブの意志を伝えるべきとおもう。

金は出すが、物言えぬ会員であってはならない。

以上

私評「職業奉仕」は解りにくい言葉です。しかしこのように「セミナー」を開いて、意見交換し討議する。このことにより少しずつ解ってきたような気がします。「セミナーで多くのロータリアンと会うこと」これが理解の道かと感じました。

12：00職業奉仕委員長 土屋利夫氏の点鐘により閉会しました。ごくろうさんでした。

<ライラ参加報告：大川高明副委員長>

青少年奉仕委員会よりセミナー参加についてご報告申し上げます。
10月18・19日の一泊二日で第38回RYLAセミナーに参加して参りました。
参加者は千葉興業銀行の小倉優太郎さんと私の2名です。小倉さんとは別のグループでした。
私のグループは11名5チームで、内2人がロータリアンで、青少年は年齢17歳から26歳までの9名です。1人カナダの留学生がおり、言葉はあまり通じませんでした。片言の英語と身振り手振りで和気あいあいと楽しく過ごしました。

このRYLAは次の5項目の内容であなたを助けます。

- ・指導力を開発します。
- ・自己に対する自信を身につけます。
- ・様々な問題に直面し、様々な人々に出会う機会を得ます。
- ・職業の技能や知識を高めます。
- ・地域社会の指導者や顧問と知り合います。



セミナーの内容は「歩行ラリー」を通していろいろと探究する機会が与えられます。
具体的にはチェックポイント7ヶ所をスタート前に渡されるコマ図（約31枚）を見ながら2時間かけて各チェックポイントを順番に通過しゴールするというラリーです。
渡されたコマ図は簡略化されており主催者のひっかけやいじわるが隠されており、初日のラリーで私のチームは時間内にゴールできませんでした。
1回目のラリーの後、グループに分かれ今日の反省と明日の対策を討議しました。討議した結果、コマ図の3つの大きな秘密と2つの小さな秘密を発見することが出来ました。
前日私のグループは5チーム中1チームしかゴールできませんでした。2日目はその秘密をもとに全チームがゴールし、また、1・2・4位と上位に3チームが入賞しました。
この結果については全員が喜びを分かち合いました。

このセミナーを受講し、若者の元気さ、積極性、それに行動力には驚きと感動を強く覚えました。体力的には大変ですが是非他のロータリアンの方々も機会があれば参加をお勧めいたします。

